

せせらぎ

教室だより No.2



令和5年6月1日

日野市立南平小学校
校長 半田 大樹
きこえの教室 せせらぎ
ことばの教室
直通電話・FAX
042-594-0578

早いもので、1学期が半分過ぎようとしています。5月は気温差が大きく、「もう夏が来たの?」「やっぱりまだ春なのかな?」と着る物にも毎日悩まされる印象が多かったように思います。6月は「梅雨」を迎えますが、雨の音や土の香り、あじさいの色などを「癒し」に感じながら心も体も元気に過ごせたら何よりです。

また6月は学校生活にも慣れてくる頃かと思います。各学校では、感染症対策が少し緩和され学校公開や行事なども行われるようになりました。普段はお子さんの話から学校の様子を知ることが大半だと思いますが、ぜひこうした機会に学校公開などを活用し実際の様子を見て、家族の会話に加えていただければ私達も嬉しい限りです。

『グループ学習』って何をするの?



せせらぎでは、吃音ときこえのグループ学習を行っています。今年度も5月から活動が始まり、吃音グループは17名、きこえグループは4名、7時間目に1時間程行っています。どちらのグループも毎回「遊びの活動」で、子供達が企画したゲームを行っています。「またやりたい!」という声が多く、私達も一緒に参加しています。

また、お友達と関わることで吃音やきこえに対する様々な考え方に触れることもできます。さらに、いつもならちょっと遠慮して聞き直せないことを「もう一度言ってくれる?」と素直に言ったり、ことばが出なくて少し時間がかかっても話し終わるまで待ってみたりとそれぞれが生き生きと活動しています。



在籍学級での水泳学習が重なる場合は、そちらを優先してください。可能な場合は振替指導を行いますので、担当教員にご相談ください。

6・7・8・9月の予定

6月 5日(月) 南平小振替休業日
6月19日(月) 南平小振替休業日
6月20日(火) 15:45~ きこえグループ学習③
6月26日(月) 15:45~ 吃音グループ学習(1~3年:低学年)
7月 3日(月) 15:45~ 吃音グループ学習(4~6年:高学年)
面談始
7月12日(水) 1学期指導終了
7月20日(木) 面談終
8月25日(金) 2学期始業式
8月29日(火) 2学期指導始め
15:45~ きこえグループ学習④
9月11日(月) 15:45~ 吃音グループ学習(1~6年:全学年)
9月19日(火) 15:45~ きこえグループ学習⑤

初めまして。せせらぎが豊田小にあるときに居ました。
4年ぶりにせせらぎの皆さんと学習できることをとても嬉しく思います。
1年間よろしくお願いいたします。



せせらぎ
コラム



ワーキングメモリに負荷をかけない学び

よく「ワーキングメモリ」ということばを耳にしますがご存じですか？

「短い時間に心の中で情報を保持し、同時に処理する『脳の黒板』」と例えるとよいでしょう。一時的に保持しておく情報ではありますが、容量には限界があり、個人差もあります。また、ここで保持した情報を今度は長期記憶へつなげることで学んだことが知識として蓄えられていきます。

では、学びの側面に意識を十分にに向けてもらうためにはワーキングメモリに負荷のかからない「伝え方」が子供たちの助けになります。要点となる5つの伝え方について一緒に取り組んでみてください。

1) 情報を分割して伝える

作業手順の情報量が多いと、本質的な学びに力が残りません。そのため、できる限り情報を分割し、一回で伝える情報量を減らし、一つ一つ提示する情報を理解してから次に進むような伝え方が大切です。

2) 知っている情報と関連させて伝える

子供が知っている情報などと関連付けて伝えることで記憶に伴う負荷が減ります。また、伝える情報に意味をもたせると楽しく考えるきっかけにもなります。

3) 分かりやすい表現で伝える

ひき算の文章題でよく「2枚食べて残りが8枚。最初に何枚あった？」といった食べ物シリーズの問題に出会います。これは、子供たちが日常体験するであろうことに置き換えることで理解しやすくなるという訳です。

4) 作業手順を確認できるように伝える

料理のレシピや模型や家具などの組み立て説明書などを想起していただくとよいでしょう。途中で作業を中断することがあっても、写真や図などもあるのですぐにそこから安心して取り組むことができます。

5) 作業方法の見本を提示して伝える

「主人公はどんな気持ちだったでしょう？」という課題で文を読むだけでは、読むことが苦手な子にとってはワーキングメモリを使い果たして「気持ちを考える」まで到達しません。この場合、何回か文章を読み聞かせることで解決することもあります。その子にとってワーキングメモリの負担がより少ない方法を選択できるようにこちらが提示することが大切です。